

— 青山学院大学 —

2月18日 法(A方式)学部 英語

解答

[I]

問いⅠ 1. ④ 2. ① 3. ① 4. ④

問いⅡ 5. ①

問いⅢ 6. ④

問いⅣ 7. ② 8. ③ 9. ③ 10. ③ 11. ④

問いⅤ 深刻なバグを指摘した際、その会社から礼を言われつつも酷い対応を受けた経験は警鐘となった。現在、彼は善意によるハッキングが悪意のあるハッキングとは異なっているということを保証することに前向きな、明確なバグ情報公開方策を掲げている会社とのみ関わることにしている。

[II]

12. ④ 13. ① 14. ③ 15. ① 16. ②

17. ① 18. ④ 19. ② 20. ④ 21. ③

[III]

A. 22. ① 23. ③ 24. ③ 25. ③ 26. ①

27. ④ 28. ② 29. ② 30. ④ 31. ②

B. 32. ② 33. ③ 34. ① 35. ② 36. ②

[IV]

37. ① 38. ② 39. ① 40. ② 41. ④

42. ③ 43. ④ 44. ③ 45. ④ 46. ②

[V]

The best present I ever received was a book given by my father. My father is a lawyer and wanted me to be interested in law. When I was sixteen, he gave me a translated version of “Common Sense in Law” written by Paul Vinogradoff, a famous lawyer. It taught me the basics of law and how attractive the world of law is, mentioning many interesting examples and episodes. It finally made me decide to apply for the faculty of law and to be a lawyer. Probably this is the book which has changed my life, and I thank my father very much. (103words)

その他の大学・学部の解答解説はコチラ

[PC用 解答速報ページ](#)[スマホ用 解答速報ページ](#)

増田塾は早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます。

解説

[I]

問い I

1.

bug bounty はホームページなどネットワーク上の bug(=欠陥)を発見した人に bounty(=報奨金)をあげる制度。vulnerability「脆弱性」などの語彙がちゃんと分かっているならば問題なく内容は掴めるはず。第1段落と第2段落の冒頭の部分から④だと判断したい。

①は害虫駆除の話だが、insects harmful to companies が比喩でないとしたら、どんな虫なのかが気になる。bug に「昆虫」の意味があることから作った引っ掛けだろう。

②の fine「罰金」、③の cheat などは本文の内容と正反対なので、誤りだとすぐに判断できるはずだ。

2.

第2段落の第3文が根拠、tell A from B「A と B を見分ける」を知っていれば、問題なく正解を選べる。

4.

いわゆる white hacker の導入に難色を示した理由が問われている。第4段落の第2文に、ハッカーと関わることに awkward だったという記述があるので、④が該当すると分かる。

問い II

5.

ハッカーという言葉が犯罪を想起するネガティブなイメージを払拭しようとしている流れを掴んで欲しい。そうすれば an alternative view of hacker「ハッカーに関する別の考え方」がこの文脈では適切だと分かる。

問い IV

7.

直前の「あらゆることがコンピューターシステムへの認められていないアクセス、それゆえに犯罪だとみなされる」という部分を指している。

11.

本文にあるように black hat はネガティブ、white hat はポジティブの意味なので、そこから判断する。

問いV

- It は直前の 2 つの文の内容を指している。バグを指摘した会社からネガティブな反応があったということが書かれていればいい。その部分を逐語訳しても問題はないと思われるが、解答例では少し簡潔にまとめてある。その場合、ここは **in the early days of exprimenting** での出来事について述べているので、「～という出来事(or 経験)は **a wakeup call** だった」とまとめると書きやすい。
- **a wakeup call** 「人の目を覚まさせるような出来事」「警鐘、警告」の意味。さすがにモーニングコールではまずいので、文脈から「目を覚まさせるようなもの」という意味を推測したい。受験で覚えるべき単語ではないので、内容が合っていれば、訳語の選択の自由度は高いはず。
- **stick to** 「～にくっついている、～に固執する」の意味だが、目的語は「会社」なので「～な会社とのみ仕事をしている」くらいに訳出ししても問題ない。
- **help ensure = help to ensure** 「保証するのに役立つ、促進する」、**ensure** の訳語が出ていれば **help** の訳をはっきりと書かかなくても、そこまで減点対象にはならないと思われる。
- **ensure that SV** 「SV ということを保証する」の **that** が省略されている。
- **well-intentioned** と **malicious** の対比。単語の意味に自信がなくてもプラスとマイナス、あるいは **white hats** と **black hats** という対比構造であることは類推できるので、諦めずに訳出しすること。

II

12.

fix 「～をなおす」「(問題などを)解決する」

ここでは後者の意味。

14.

overtake 「～を追い越す、上回る」が正解、overdo は「～を誇張する」

15.

富が集中している状況を示していることを掴めば、**concentration** が適切。

17.

name A after B 「B にちなんで A を名付ける」

ここでは分詞構文になっていて「アダム・スミスにちなんで名付けられた」という意味。

20.

and の接続を確認する。前半部に肯定的な内容がかかれていますのでそこから判断できる。

III

24.

stretch 「(お金などが)持つ、間に合う」の意味で、やや難しい。

32.

- ① (That's) all for today 「今日はここまで」
 - ② (人) be done for the day 「(人の)1日の仕事が終わった」...正解。
 - ③ from start to finish 「終始一貫」
 - ④ the finishing touch → put the finishing touch 「最後の仕上げをする」
- ①と②は意味が似ているが主語が異なる。

33.

- ② come in contact with 「～に出会う」
- ③ come in handy for 「～に役立つ」...正解。
- ④ come to terms with 「合意に達する」

34.

- ① be hooked on 「～に夢中になる」...正解。
- ③ moan about 「～をなげく」

IV

37.

SV 構造が2つあるので、接続詞の though 以外は文法的に正しくない。

38.

動詞で使用できるのは②と④だが、terrify は「～を怖がらせる」なので、目的語は人間、よって②が正解。

39.

succeed in Ving なので①か②。ただし「～を探す」は search for なので②は不可。

42.

hang out 「～によく出かける、たまる」
多少は差がつく設問。

43.

take to 「～を好む」

これも多少差がつく設問。

45.

wash one's hand of 「(仕事など)から手を引く」

馴染みのない熟語だが、日本語でも似た表現があるので、なんとか類推可能。

46.

A is to die for 「A はすばらしい、素敵だ」

知らなければ、おとなしく自動詞を選んでみるのも一手。

V

解答例参照。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ

[PC用 解答速報ページ](#)[スマホ用 解答速報ページ](#)

増田塾は早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます。